

共同利用施設 案内

室名: 遺伝子関連物質解析室

主任: 千葉章太

免疫微生物学ユニット:
(内線267)

場所:

5号館2階

内線: 269

施設利用手引き



概要: 遺伝子組換え実験(P2)ができます。遺伝子導入、遺伝子発現解析、タンパク質発現解析、フローサイトメーター解析、セルソーターによる細胞分取などが行えます。

共同利用機器備品リスト:

1. セルソーター (FACSscalibur) 1台
2. サーマルサイクラー (Bio-Rad T100) 1台
3. リアルタイムPCR装置 (Applied Biosystems StepOne Real-Time PCR System) 1台
4. クリーンベンチ (核酸用) 1台
5. ミニゲル電気泳動装置 (i-Mupid, Mupid-2X) 2台
6. ポリアクリルアミドゲル電気泳動装置 1台
7. Semi-Dry Transfer Cell (Trans-BLOT SD) 1台
8. 2次元電気泳動装置 (Millipore) 1台
9. GloMax20/20nルミノメータ (Promega E5311) 1台
10. ゲル撮影・解析装置 (Imagemaster VDS) 1台
11. バイオハザードベンチ 1台
12. 超遠心機 (HIMAC centrifuge CS100) 1台
13. 遠心機 (TOMY Suprema 21) 1台
14. 卓上微量高速遠心機 (TOMY KINTARO-24) 1台
15. ゲル撮影装置 (AMZ Limited-Stage)

機器用途【 なにができる? 】

1. 血液細胞など(単離細胞浮遊液)の表面分子や細胞内サイトカインなどの発現を蛍光標識抗体を用い検出します。加えて、生きた細胞を分取できます。
2. PCR法による遺伝子発現の検出と半定量ができます。
3. 定量的PCRができます。
4. mRNA抽出やcDNA合成などの実験を行います。
5. 核酸の分離やPCR産物の確認などに用います。
6. タンパク質の分離に用います。
7. 5・6で分離したタンパク質や核酸をメンブラン上に移す装置です。7と併せてウェスタンブロットングやノザンブロットングに用います。
8. タンパク質を等電点と分子量により分離する装置です。
9. ルシフェラーゼ発光を定量する装置です。細胞増殖試験や酵素活性測定などに利用できます。
10. ゲルイメージを撮影、解析できます。
11. 大腸菌への遺伝子導入などを行います。
12. 最高100,000rpm(約600,000G)まで使用できます。核酸・タンパク・ウイルスなどの分離に用います。
13. 冷却機能付。マイクロチューブ、15mL・50mLチューブ、500mLホルル、培養プレートなどを遠心できます。
14. マイクロチューブを遠心できます
15. 核酸電気泳動ゲルを撮影できます。

1



3



5



6



10



13



15

